

竹田警察署協議会

第1回会議の開催状況

第1 開催月日

令和5年6月23日（金）

第2 出席者

公安委員長
協議会委員 5名
警察署 署長、副署長、総務会計課長、地域交通課長、警備課長、生活安全係長 6名

第3 議事の概要

1 業務説明等

警察署から

- ・業務推進状況

について説明がなされた。

2 諮問事項の決定

- ・交通事故防止対策
- ・特殊詐欺を含めた犯罪抑止対策

を令和5年度の諮問事項とすることに決定した。

3 意見、質疑応答等

(1) 委員から「ニュースや新聞報道で、大麻や覚醒剤が若者に広がっていると聞いている。竹田市内での状況はどうか。」旨の質問がなされ、警察署から「竹田市においてはそのような情報はないが、竹田に限らずSNSで隠語を用いて検索して、インターネットで購入するということが起こっている。検挙に向けて情報収集するとともに、学校に赴いて薬物の危険性を伝える薬物乱用防止教室などの諸対策を本部と連携しながら行っている。」旨の回答がなされた。

(2) 委員から「こどもの犯罪で多いものは何か。」旨の質問がなされ、警察署から「大分県下では自転車盗と万引きが多いが、竹田では発生が非常に少ない。対策として、鍵かけ広報や学校での防犯教室を開催している。」旨の回答がなされた。

さらに「ぐ犯少年とはどのような意味か。」旨の質問がなされ、警察署から「犯罪を起こすに至っていないが、不良グループに所属して、さらに親の監護に服さないなど、犯罪を起こす可能性が高いと認められる少年をいう。」旨の回答がなされた。

(3) 委員から「危険な運転をする高齢者を見かけるが、指導や対策はできないか。」旨の意見があり、警察署から「高齢者の集まるサロンや会合等で啓発活動を行い、交通取締りも行っている。今後もより高齢者に響くような施策を実施していきたい。」旨の回答がなされた。

(4) 委員から「認知件数、検挙件数とは何か。年によってばらつきがあるのはなぜか。」旨の質問がなされ、警察署から「認知件数は警察に届けられた被害の数、検挙件数は警察が検挙した数である。検挙率100%を目指しているが、車上狙いなど、事件が連続で発生してそれが検挙できないと検挙率は下がってしまう。」旨の回答がなされた。

さらに「さい銭盗について、竹田での発生はどうか。」旨の質問がなされ、警察署から発生状況の回答がなされた。

また、「防犯カメラに関して、警察はどのような取り組みを行っているか。」旨の質問がなされ、警察署から「防犯カメラの設置は警察からも積極的にお願いしているところである。設置にかかる費用の補助制度があるが、一定の条件がある。設置希望があれば相談してもらいたい。」旨の回答がなされた。

4 公安委員長講評

公安委員長から、「諮問事項が前年と同じく「交通事故防止対策」と「特殊詐欺を含む犯罪抑止対策」に決定したが、「継続は力なり」という言葉のとおり、継続してこそ効果が出るという認識を持って取り組んで欲しい。市民から自発的な運動が起こる仕掛けを協議会から起こすことを期待したい。」旨の意見がなされた。